

13:00～13:05 開会の辞
上原 麻有子 文学研究科教授

13:05～13:15 開会挨拶
稲葉 カヨ 理事・副学長(男女共同参画・国際・広報担当)

第一部 アジアの女性研究者による提題

司会: 上原 麻有子

13:20～13:50

Kim Heisook 梨花女子大学総長
"Digital Revolution, Humanities,
and Asian Women Subject"

英・日語通訳: ギブソン松井 佳子 神田外語大学教授

Kim Heisook

13:55～14:20

三成 美保 奈良女子大学副学長/日本学術会議副会長
「アジアから問うジェンダー史 - 新しい世界史を目指して」

三成 美保

14:25～14:50

落合 恵美子 文学研究科教授
「女を生きる/社会理論をつくる - アジアの家族主義に抗して」

14:55～15:20

西郷 南海子 教育学研究科博士後期課程 大学院生
「子育てという現場から考える、アジアの民主主義と教育」

第二部 提題者とコメンテーターによる総合討論

15:30～17:20
座長: 上原 麻有子

提題者

Kim Heisook、三成 美保、落合 恵美子、西郷 南海子

コメンテーター

桑山 裕喜子 ヒルデスハイム大学博士課程 大学院生、
Jin Y. Park アメリカン大学教授、村瀬 雅俊 基礎物理学研究所 准教授

英・日語通訳
ギブソン松井 佳子

落合 恵美子

西郷 南海子

17:20～17:30 閉会の辞
湊 長博 プロボスト、理事・副学長

人社未来形発信ユニット 第2回全学シンポジウム

女性がつくるアジア人文学

「女性」に焦点を当てる今回のシンポジウムでは、大学で研究・教育に携わる女性たちが集まり、アジアの現代社会に潜むジェンダー関連の諸問題を明るみに出し、分析します。非西洋的な伝統をもつ社会の課題に切り込むには、非西洋起源の知が必要ではないか。家庭と大学を生きる女性研究者の視点から、アジア人文学という知の可能性を探ります。

参加費
無料
(先着順)

2019年8月23日(金) 13:00～17:30 (12:30開場)

会場 京都大学国際科学イノベーション棟5F シンポジウムホール

主催: 人社未来形発信ユニット
お問い合わせ: 人社未来形発信ユニット ukihss@bun.kyoto-u.ac.jp

申込方法
ホームページよりお申し込みください。
URL <https://forms.gle/URBvk75r13SaXPpyX7>

